

設計・施工基準(カラーベスト)

□ 屋根勾配と最大流れ長さの基準

【1】一般施工地域用の基準

- 一般施工地域に適用します。
- 谷が長くなると谷板の幅を広くする必要があります。詳しくはカラーベスト設計施工マニュアルをご参照ください。
- スペリアルII・プラウド・セイバリーの個別対応B基準はありません。

NEW :2017年4月3日運用開始

屋根材の種類	屋根形状	基準		勾配								
		標準基準A	標準基準B ^{※3}	2.5/10以上 ^{※1}	3/10以上	3.5/10以上	4/10以上	4.5/10以上	5/10以上	6/10以上		
コロニアル (グランデグラッサ・ 遮熱グラッサ・ グラッサ・クアッド) セイバリー (グランデグラッサ・ グラッサ) レイシヤスグラッサ グラッサ600	切妻 片流れ	標準基準A	流れ長さ	5m以下	7m以下	10m以下	13m以下	16m以下	20m以下			
			下葺材	①	②④							
		標準基準B ^{※3}	流れ長さ	—	10m以下	15m以下	19m以下	24m以下	30m以下			
			下葺材	—	③ ^{※2}							
		個別対応A	流れ長さ	12m以下	17m以下	25m以下	32m以下	40m以下				
			下葺材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。								
	個別対応B ^{※4} NEW	流れ長さ	15m以下	21m以下	30m以下	39m以下	—					
		下葺材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。									
		専用部材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。									
	寄棟	標準基準A	流れ長さ	5m以下	5m以下	7m以下	10m以下	13m以下	16m以下			
			下葺材	①	②④							
		標準基準B ^{※3}	流れ長さ	—	7m以下	10m以下	15m以下	19m以下	24m以下			
下葺材			—	③ ^{※2}								
個別対応A		流れ長さ	12m以下	12m以下	17m以下	25m以下	32m以下	40m以下				
		下葺材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。									
個別対応B ^{※4} NEW	流れ長さ	15m以下	15m以下	21m以下	30m以下	39m以下	—					
	下葺材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。										
	専用部材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。										
屋根材の種類	屋根形状	基準		勾配								
		標準基準A	標準基準B ^{※3}	2.5/10以上	3/10以上	3.5/10以上 ^{※1}	4/10以上	4.5/10以上	5/10以上	6/10以上		
スペリアルII (グランデグラッサ・ グラッサ) プラウド (ナチュラルグラッサ・ グラッサ)	切妻 片流れ	標準基準A	流れ長さ	—			10m以下	13m以下	16m以下	20m以下		
			下葺材	—			②④					
		標準基準B ^{※3}	流れ長さ	—			7m以下	15m以下	19m以下	24m以下	30m以下	
			下葺材	—			①	③ ^{※2}				
		個別対応A	流れ長さ	—			12m以下	25m以下	32m以下	40m以下		
			下葺材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。								
	寄棟	標準基準A	流れ長さ	—			7m以下	10m以下	13m以下	16m以下		
			下葺材	—			②④					
		標準基準B ^{※3}	流れ長さ	—			7m以下	10m以下	15m以下	19m以下	24m以下	
			下葺材	—			①	③ ^{※2}				
		個別対応A	流れ長さ	—			12m以下	17m以下	25m以下	32m以下	40m以下	
			下葺材	物件毎の個別対応になります。弊社営業所までお問い合わせください。								

【下葺材仕様】

種類	適用工法	仕様
下葺材①	標準工法または 接着剤併用工法	イーグルガードまたは、アレスガード・1層敷
下葺材②		NEOシート、ノアガードIIまたは、アスファルトルーフィング940同等品以上・1層敷
下葺材③		イーグルガードまたは、アレスガード・1層敷 下地が硬質木片セメント板の場合はアレスガード・1層敷とし、けらば部の増張りを幅1,000mmにする。
下葺材④	2本ビス(釘)留め工法	NEOシート、ノアガードIIまたは、アスファルトルーフィング940同等品以上・全面2層敷または、アレスガード・1層敷

※1 ビス留め施工(2本ビス留め工法(耐風補強工法)、硬質木片セメント板への留付け等)の場合は、個別対応も含め施工不適。

※2 標準基準Aを超過した範囲に適用します。

※3 耐風補強工法の場合は、工法により仕様異なります。●接着剤併用工法:表の基準通りとします。●2本ビス(釘)留め工法:標準基準Bではなく、個別対応となります。弊社営業所までお問い合わせください。

※4 セイバリーには適用しません。